

遠隔監視 水管理システム

概要

人道的、生態学的、経済的な理由から、効率的な水管理は様々なレベルで議論されるようになってきています。飲料水の最適かつ安全な取り扱いは、事業者、投資家、衛生機器設置者、プランナー、施設管理者がおこなう必要がある義務です。汚染された水は大きな被害をもたらす可能性があり、監督者はあらゆる手段でそのリスクを低減させようとしています。また、公衆トイレの水の無駄遣いを減らすことで、水道代や暖房費、サービス料などの大幅な節約につながります。

挑戦

特に複数のサニタリーユニットを持つ大規模な物件では、水の衛生状態を確保し、最適に使用することは容易なことではありません。問題は、水道が衛生的に運用されていることを、どうやって保証するかということです。そして不具合や必要な保守作業を効率よく見つけ出すためには、どのような方法があるのでしょうか。大型構造物を効率的に監視するためには、自動化や遠隔管理システムが必要です。

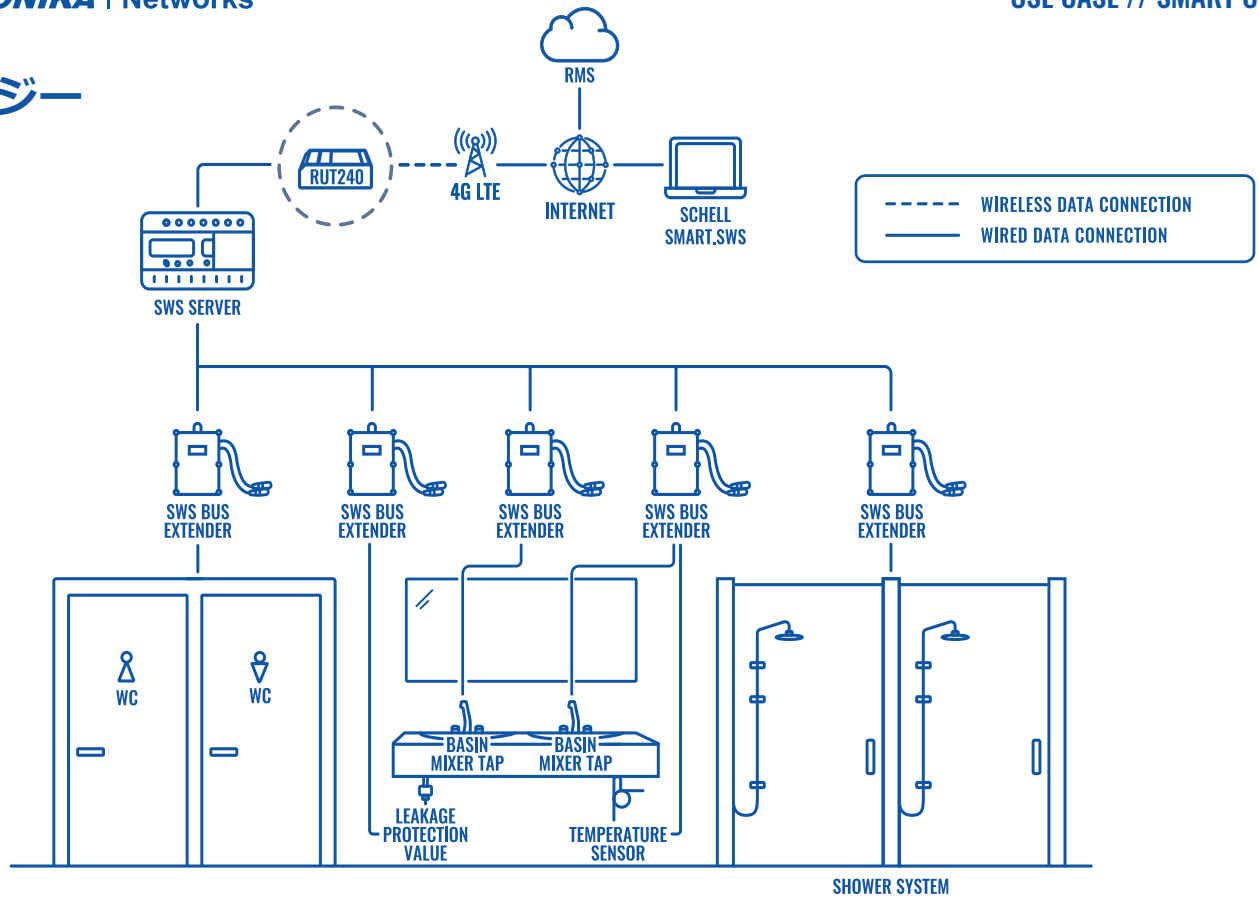
パートナー SCHELL

SCHELL社は、80年以上にわたり、ドイツ製の革新的な製品とサービスに継続的に投資している建築設備用金具の世界的大手メーカーのひとつです。調整角バルブや機器接続用金具などの豊富な製品群に加え、公衆トイレのサニタリーシステムも提供しています。

ソリューション

SCHELL SWSは、テルトニカのRUT240セルラールータを使用した継手用のインテリジェントなネットワークと制御を提供する初の水管理システムです。SCHELLの電子洗面台、シャワー、トイレ、小便器の継手を制御することができます。対応するバスエクステンダーでネットワークに接続し、最大64台までの管理が可能です。ゲートウェイは、このシステムを既存のビルオートメーションシステムに統合し、RUT240はバックアップのための自動フェイルオーバーで破綻しないネットワーク接続を提供します。このデバイスは、接続の信頼性、コンパクトなサイズ、シンプルなインテグレーション、安全なデータ転送のための様々な産業用ネットワークプロトコルのサポートにより、ソリューションに最適なものとなっています。

トポロジー



大型ビルの水質を継手とセンサーで集中管理するシステムです。 温度や滞留水洗の開始・終了などの動作パラメータは、データプロトコルを用いて読み取り評価することができます。

SMART.SWSは、ビル全体のユーザーが常にシステムに目を配れるようにします。リモートアクセスにより、水の消費量や意図した動作の状況をいつでも知ることができます。また、統合制御システムにより、遠隔操作で抗菌高温洗浄を希望する時間帯に設定したり、時間外の給水を完全に止めたりすることも可能です。つまりオンラインサービスを利用することで、簡便かつ迅速、そして場所にとらわれない管理・資源の最適化が可能になるのです。

メリット

- 効率性：データ駆動型の自動化により、可能な限り最高の水衛生、最適な自動フラッシング、集中制御された熱消毒が保証されます。
- コスト削減：水量のターゲットを絞った制御を通じて、省エネルギーで経済的にも最適化できます。
- リモート管理 - 任意の場所から複数のオブジェクトとパラメータを中心に制御します。
- プラグアンドプレイ - 必要なコンポーネントがすべて揃っているため、迅速なインテグレーションが可能で誤発注を防ぐことができます。

なぜテルトニカなのか？

SCHELL社によれば、同社がテルトニカの機器を選択した主な理由は、コストパフォーマンスが非常に高いことと、リモート管理が可能なことでした。 RUT240は、中断のない接続を保証する信頼性の高い製品で、24時間365日システムの監視を可能にします。また、特定のインターネットサービスプロバイダに縛られることなく、柔軟な対応ができることもメリットのひとつです。

